



オンライン分光光度計 デルタカム

自動的にカラー測定することにより工場間・印刷機間・オペレーター間の誤差をなくし、絶対的なカラーの一貫性を実現します。



31チャンネルの分光センサーにより、一般的に使用される分光光度計と同等の精度で印刷中常にカラー変動を監視します。

デルタカムの特徴

印刷機を稼働させたままでカラー測定が可能

- ・卓上型分光計での測定が不要です。
- ・ロール全体のカラー変動も見える化ができます。

異なる印刷条件でも同じカラー性を確保

- ・どの工場、どの印刷機、どのオペレーターでもカラーの一貫性を保つことができます。

測定データの保存と検証が可能

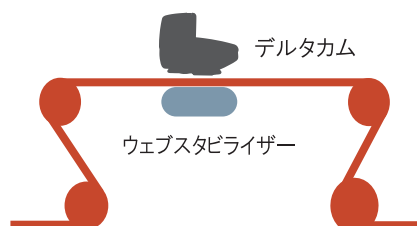
- ・測定データは蓄積され、いつでもどこからでも閲覧することができます。

デルタカムで期待できる利点

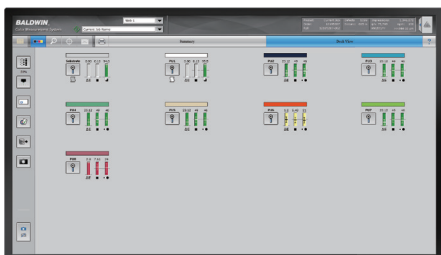
- ・見当合わせ作業終了時にはカラー測定が自動で完了するため、資材の削減と生産性向上に貢献します。
- ・ロール全体の見える化ができ、トレーサビリティも備えているため、品質の100%保障が可能となります。
- ・ドットゲインの変動によるカラー変化を常時監視できるため、特色をプロセスカラー(CMYK)へ置き換える際の安心が得られ、生産性向上にも貢献します。

特許技術のウェブスタビライザー

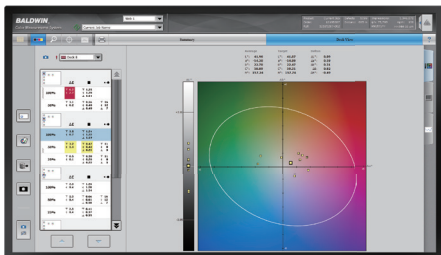
特許技術のウェブスタビライザーが測定の瞬間にエアを使い、走行中のフィルムをBCRA白タイルに引き寄せ、正確に測定することができます。



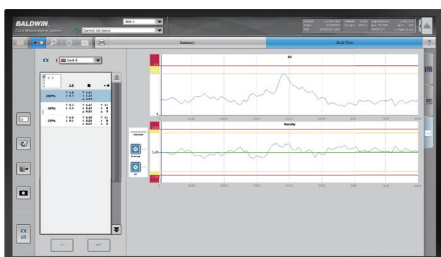
スクリーンから得られる詳細なカラー情報



メイン画面
濃度・ ΔE ・ドットゲインの
状況を一覧で表示。



選択ユニットの詳細画面
ターゲットに対する測定
結果の L, a, b 分布と数値
による情報を表示。



トレンド画面
印刷中の ΔE と濃度の変遷
を表示。

主な仕様

スキャナーセンサータイプ:分光光度計
測定テクノロジー:ISO 13655:2009準拠の分光
反射率測定
測定形状:ISO 5-4Iに準拠した45° / 0°
測定形状
測定面積:5mm x 5mm ISO準拠
測定条件:測定はM0およびM1準拠
測定口径:直径3mm
スペクトル範囲:400~700nm
光源:LED
カラーメトリック測定:
L*a*b*C*h、 ΔE 式: ΔE_{ab} (ΔE_{76}),
 ΔE_{94} , ΔE_{2000} , ΔE_{CMC}
濃度測定:濃度標準、ステータスT、
ステータスE、DIN
ターゲット最小サイズ:
3/16" x 3/16" (5mm x 5mm)
校正:組み込み白色参照で自動校正
照明/観測:照明タイプ [D50, D65, A&C]
および標準観測 [2", 10"]
濃度フィルター:DIN 16536, ISO/ANSI T, ISO E
色調サポート:ベタ(100%)および5%-99%の色調
基材最高速度:610m/分 (2000fpm)
測定最大頻度:5回/秒

デルタカムの DX 運用提案

デルタカム導入によって得られる数値化された色の情報を社内ネットワークを通じて共有することで、社内のDX化へ向けた活用の道が開けます。



Contact

日本ボールドウィン株式会社
Package & Offset事業部
TEL:048(839)8831 Eメール:japan_vs@baldwintech.com